

足立卷一

え・津高和一

ほくたちは「悪童」ではなかった。
しかし「善童」でもなかった。

16 森

非正心童物語

ほくたちの遊び場は、生田神社の境内と森とであった。そのことなら、いまでも由でいえる。東門をはいったところにはどんなクスの巨木があつて枝をひろげていたか、ふとい幹にどんな空洞をかくしていたか、あるいは拝殿の前のイチョウの木にはどんな鳥が来るか、森にはどんな草が実をつけていたか。

森にはコールタールを塗った、黒い太い木の柵がめぐらしてあつた。

でも、ほくたちはやすやすと柵のあいだから森へすべりこむことができた。よじのぼって、飛び越えることもわけなかつた。

森にはくろぐろとしたクスの木が茂り、雑木や灌木が密生し、熊笹におおわれていた。ふしげに松の木は一本もない。生田さんは女の神さまで葉のとがった松がきらいだからだと教えられた。その森のなかを細い道がいくつか走り、そのひとつひとつをほくたちは熟知していた。

夏になると、葉の広い、背の高い草がいっせいに濃紺の実をつけた。指でつぶすと、すぐに手は青く染まり、ほくたちはそれをまたシャツやパンツでぬぐつた。きものもまた青く染まつた。それで、わたしたちはその草を「インキ花」と呼んだ。

立ち木がなく、笹だけが茂つてすこしひらけた場所が

あつた。

ほくたちはそこで、タルマッチをして遊びほうけた。タルマッチとはそのころのアメリカ映画の冒険俳優リチャード・タルマッチのことだ。かれは木から木へとびうつり、あるいは宙がえりを打つ。

ほくたちはそのように木にのぼり、枝をゆさぶり、木から木へ飛んだ。あるいは熊笹のうえでさかだちをし、宙がえりのまねをした。それで、シャツにはいつも草のにおいがしみついていた。

夏には、よくセミのサナギを捕つた。

森のなか、池のほとりを歩くと、土にまるい穴が点々とあいている。そのなかへハリガネの先をちいさな輪にしてさしこむ。すると、きっとサナギはハリガネの輪を前足でつかみ、ぶらさがつてあらわれてくる。やつらは黒褐色のうすい甲殻で包まれ、ずんぐりしている。

それをそっとボール紙の箱にうつす。箱のフタには、呼吸ができるようにクギでたくさん穴をあけておいてやる。

翌朝、紙箱のフタをとると、いつのまにかサナギはセミにかわっている。それも翅がうすみどりにすきとおつて美しい。背や腹の褐色もつややかだ。それがなんとも、ぼくにはふしきでならなかつた。

しかも、その生まれたばかりのセミを空へ放つと、たいていはわずか翅を動かせたきりで屋根のうえへ弾丸のように落下してしまうのだ。それは、さらにふしきであつた。

秋から冬にかけては、森のなかに陣地をつくつた。

灌木の茂みに木の枝などをわたし、やつと座れるほどちいさな空間をつくる。それをぼくたちは陣地と呼ぶ

のだ。陣地はなかま以外、だれにも知らしてはいけない。陣地は秘密の場所でなければならなかつた。

その陣地で、ぼくたちは車座になつてとりとめもないおしゃべりをつづけた。そして、冬になると、そこでこつそり火を焚く。

燃料は枯れ草や枯れ枝や、ゴミ箱に捨ててある木ぎれや木箱のフタの類であったが、そのうち、ぼくたちは偉大な発見をした。東門のむかつて左手は広っぽになつていたが、その土のしたに奇妙な燃料がまるで石炭のようになつくれていることを見つけたのだ。

やわらかい土のかたまりに似ていたが、油がにじんでいる。それに火をつけると、勢いよく燃えるといふのはなかつたが、ほのかにくすぶりつづける。ほどなく、中学校にいつている都賀さんが、それはベンキだといつ



た。おそらく、ペンキ屋が変色したか腐ったかした塗料を捨てたのだろう。それがかたまり、そのうえに土がかかるものにちがいない。

その燃料をぼくたちは陣地に持ちこんだ。

燃やした。

そして、火に手をかざしながらたのしい時をすごした。

もつとも、その秘密のあたたかいたのしみは長くはつかなかつた。煙りを神社の「ベットウ」に見つけられたからだ。

「ベットウ」は「別当」と書くのだろう。濃紺のハンテンにモモヒキをはいて、森や境内を見まわっていたおじさんのことだ。社の雑役係りであったのだろう。

ぼくたちが森の柵を乗り越えようとするところを見つたりすると、「コラア！」と喚きながらすごい速力で追つて来た。が、ぼくたちは別當につかまるようなへマは一度もしなかつた。森のなかなら、別當よりもぼくたちはほうがずっと知りついていたから。ぼくたちは茂みから茂みへ走り、身をひそめ、ときには

「やーい、ベットウ！」

と、からかつた。

でも、陣地の焚き火は煙りがあがるので、すぐバレる。なるべく煙りのもれないように枝をはりめぐらしたけれど、あまり効果はなかつた。ぼくたちが逃げたあと、別当はいつも陣地をメチャメチャにつぶしていた。すると、ぼくたちはまた別の場所に陣地をつくり、ふしぎな燃料に点火することをくりかえした。

森のなかのいくつかの小道のうちに幹線とでもいうような比較的明確な道がついていた。

それは広っぽから柵を乗り越えたところにはじまり、ななめに森のなかをよぎって中山手通りの電車みちのはうへむかっていた。その終点も柵であったが、柵のそとには外人屋敷が建ちならんでいる。木造だけれど、壁にも柱にも空色のペンキがぬつてあった。

その一軒には、アルカッシャという少年がいた。ひょろひょろの細ッピンで、白い顔にアマニ色の髪を



わ

たらし、水色の目をつけていた。やはり、小学二年生ぐらいうしかった。

アルカッシャには、ベイビイと呼ぶ弟がいた。ほんとうの名があったのだろうが、アルカッシャが「ベイビイ」と呼ぶのでぼくたちはそれが名前だと思いこんでいた。アルカッシャとベイビイは、自分の家のすぐ裏の柵をくぐって森のなかへやって来る。それで、いつしかぼくたちも陣地のなかまへ入れてやるようになった。

日が暮れて、森が暗くなりはじめると、きまつて

「アルカッシャ！」

と、呼ぶ美しい女の声がし、ほどなく金髪の、すらりとしたきれいなねえさんがあらわれ、手を引いてつれて帰る。姉にちがいなかった。金髪をおさげに結んでいて、それが背なかの赤い服のうえでゆれて遠ざかる。するとぼくたちも「いのか」といあって、陣地をあとにすることが多かった。

後年、ぼくは『アルカッシャの森』という詩を書いたことがある。

神戸市下山手通一丁目

傾斜した港町の一角に

森は中世のままに生きていた。

クスノキの根はお化けのように老い

吐きけがするほどの草いきれ

シャツをすぐ青くするインキ花。

森の奥ふかく

ぼくたちは秘密の陣地を持っていて

コウモリがとぶ日ぐれまで

タルマッチなどして遊び呆けたのだ。

ある日

ぼくがひとり

学校をぬけて陣地へいくと

意外にも見知らぬ先客がいた。

異人の少年で

アマニ色の髪の房の下からは大きな目玉が葉もれ日を見あげていた。

「きみの名は？」

「アルカッシャ」

「きみの国は？」

「あなたの知らない国」

「アメリカか？」

「……」

「イギリスか？」

「……」

「ドイツか？」

「……」

「フランスか？」

「……」

「ロシアか？」

「……」

「ブラジルか？」

「あなたの知らないちいさなちいさな国」

ぼくの世界地理はすっかり種切れだ。

それなのにアルカッシャは種を明かさない。

ぼくは怒った。

と

ちいさなちいさな声で

「アビシニア」

そして

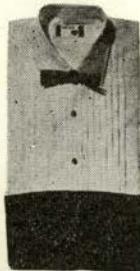
草の炎のなかへ走り消えた。

そのときの「アビシニア」という微音は、いまもぼくの耳の底にこびりついている。

アルカッシャよ。きみはあの長い戦争のとき、どうしていったか？ きみは生きているだろうか？ 生きているとすれば、どこで何をしているのか？

(つづく)

KOBE SHIRT



ようずや 機衣縫上處
神戸シャツ

神戸店 - 神戸大丸前 33-2168
東京店 - 東急日本橋店1階 211-0511 内線219
東急渋谷本店 6階 462-3433

謹賀新年



・元町2丁目33-4707~8
・そごう百貨店特選サロン
サンヘコーナー



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

三恵洋服店

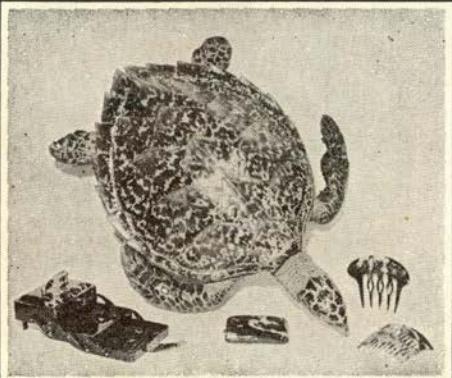
元町4丁目 TEL ④ 7290



高級紳士服専門店

神戸テーラー

さんちかメンズタウン TEL ⑨0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL ③2817-3173



センスあふれる
べっ甲専門店

太田鼈甲店

元町1丁目 TEL 33-6195



Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

オシャレ洋品の店

フナキヤ

元町3 TEL <33>3617



創作ハンドバッグ
工芸品 ORIGINAL

神戸■元町
ACCESSORIES

イクシマヤ

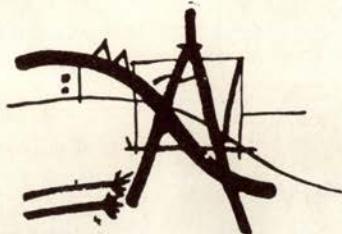
TEL. (33) 2415・2416



大上鞄店

元町通1丁目 TEL 33-3962
さんちかメンズタウン TEL 39-4627

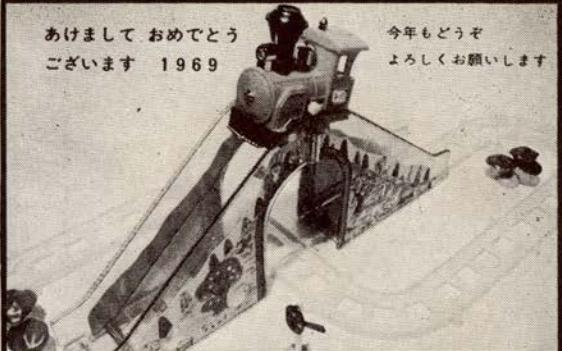
額縁絵画・洋画材料 室内工芸品



末 積 製 額

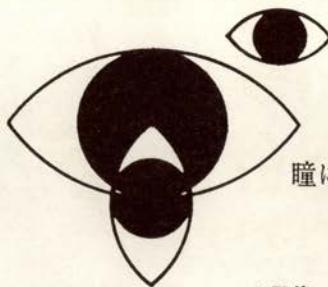
三宮・大丸北
トア・ロード
③1309・6234

あけまして おめでとう
ございます 1969
今年もどうぞ
よろしくお願ひします



おもちゃの カメヤ

三宮方面でのお買物は……
さんちか店 ファミリー タウン ⑨ 4045
三宮店 センター街大洋劇場東隣 ⑨ 4969
元町方面でのお買物は……
元町店 元町通 3丁目山側 ⑨ 0090
バンブウ店 元町通 1丁目不二家前 ⑨ 0768



瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員
国際コンタクトレンズ研究所

神戸市兵庫区御幸通八丁目九ノ一（三宮駅前）
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570



羽アリを見たら
危険信号

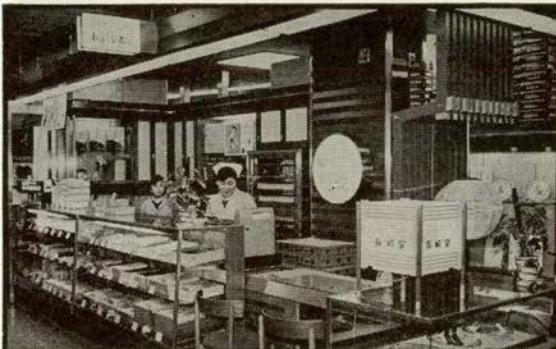


白アリ

一回全滅 十年間責任保証
兵庫県環境衛生事業協会理事
日本白アリ対策協会認定防除施工士
神戸商工会議所会員

アイワ消毒株式会社

神戸市生田区中山手通 3～5
トアロード筋
TEL (39) 8636 (33) 0854



ご贈答に風味豊かなカステーラ
長崎堂本店

本店=大橋町5 大五ビル (61) 0553-4
新開地店=松竹座前 (56) 2423
元町店=元町 6 (34) 4130
さんちかスイーツタウン (39) 3625

The
Cosmopolitan
Valentine F. Morozoff

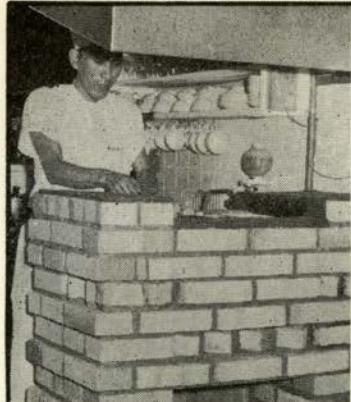
コスモポリタン
チョコレート・キャンディー

神戸本社 神戸市生田区三宮町1丁目170 電話 33-5304
神戸直売店 神戸市生田区三宮町1丁目 電話 33-1217
大阪精肉店 大阪市東区淡路町2丁目 電話 231-6979
大阪心斎橋店 大阪市南区安堂寺横通4丁目 電話 251-4182
東京銀座店 東京都中央区銀座8丁目 電話 571-2303
東京新宿店 東京都新宿区角筈1丁目
新宿ステーションビル地下2階 電話 352-2436

東京有楽ビル店 東京都有楽町 有楽ビル 電話 213-2821
東京国際ビル店 東京都丸ノ内 国際ビル 電話 212-3746

創業明治二十一年
履物の山下
古い老舗に新しいセンス

神戸 三宮センター街
TEL 39 0256
確実正札 完全冷暖房
静かに品選びの出来る店



炭火で焼いた
神戸肉の
バーベキュー
ステーキ

H HOOK フック 東店

神戸市生田区栄町1-5-3 TEL (078)32-3207

神戸っ子のみんなに愛される落ちついた喫茶店



TEA ROOM

ai 喫茶 愛

★神戸・元町本通元ビル2階 TEL (32) 0958

おすし
てんぶら



榮彌



支店

本店

TEL

さんち

5
2
3
3
街

(毎週月曜日休

みどり

5
6
7
7
4

TEL

か味のれん

5
6
7
7
2

東

営業時間

A.M. 11.30 ~ P.M. 9

でんわ・
23 23 33
1063771
三四五

コベサシ
ムサシ

やつぱりうまい
むさしのとんかつ

**SNACK
YAMANOTE**

神戸市生田区中山手1丁目
ソネビル TEL 22-3637

北野町
山の手
ホテル和香葉
市電中山手1丁目

**CLUB
*Young Bell***

松田 真理子
生田・中山手2丁目89・光ビル1階 TEL 33-3052

CLUB 小万

生田新道相互タクシー上る

PHONE : 39-0638
39-4386

グラムーレ

生田筋・岸ビル地階 TEL 33-4637

兵庫の女

武田繁太郎
え・松岡寛一



★あらすじ まつをは十五才で広島の生家を出て鐘紡の女工になり、同じ職場の安福利市と結婚。共稼ぎで苦労した末、呉服屋たち屋を開いた。結婚後二十年やつと子宝に恵まれた。利市は「南栄商店連合会会長」に選ばれたが多忙な身は病を起こし、翌年三月他界した。亡夫の一周年をすぎると、まつをは大活躍をはじめると、ふと口にした酒の味が忘れなくなる。昭和六年の正月、高血圧で倒れた。奇蹟的に助かった彼女は半身不随になりながらも、呉服屋を閉じ、貸家業をはじめると、また活躍をはじめた。貸家業で儲けた金を軍需工場に投資し、成功する。

一方、一人息子の良治は高校に入学し彼女を喜ばせるが忙しいまつをは良治の心を觸れる暇もなく、良治はだんだん彼女の手のとどかない存在となりつつあった。

「阿呆らしい。なにをそんなこと言うてんねん。愛やらなんやらって、あた恥かしい、ようそんなこと口にでけるわ」

まつをは、さも汚らわしい言葉を口外にするように、眉をしかめて言った。

「ええか、良治。お父さんとお母さんはな、はじめて世帯を持ったときから、惚れたの腫れたのと、そんなじやらじやらしたこと言うてる暇はなかったんや。夫婦してただ死もの狂いに働いてきたんや。そやさかい、まがりなりにも、かたぢ屋の店も持てるようになったんやないか」

「そうか。夫婦とはそういうもんか。お母さんにとって夫婦には愛情なんか必要なかつたんやな?」

「良治。そんないやらしい話、もうやめとき。お母さんや」

「お母さん。人間、力儲けが旨うて、財産をつくることが、そんなに立派なことか。人間には、もっと大切なもあるはずや。お母さん。お母さんはたつたといっぺんでもええ、ほんまに真ごころから、死んだおやじを愛したことがあつたんか。おれは、それがききたかつたんや」

ききともない」

じっさい、愛だの恋だのといった言葉は、まつをの抱いている道徳観からすれば、みだりに口にすべき言葉ではないかった。いわばタブーにひとしかった。

「良治。おまえ、いつのまにそんな不良になったんや？」

良治は投げだすように言った。

「不良？ そうか。こういう話をするもんは、それだけで不良扱いか」

良治は投げだすように言った。

「もつええ。なんば話をして、お母さんとぼくの気持ちは通じあわん。平行線や」

良治はふらふらと立ちあがると、そのまま、まつをの居間をでていった。

良治が、母とこんなにはげしい言葉のやりとりをしたのは、むろん、このときがはじめてであった。

だが、良治がいなくなると、われ知らず負いたついたようなまつをも、さすがに気まづい沈黙におちていった。

「お家はん。あんまり気にせんほうがよろしうまっせ。ほんほん、今夜はだいぶ悪酔いしとつてんですわ」

おたかが慰め顔で言つたが、

「あの子も、いつまでも子供や子供やと思うてたけど、もう検査をうける年になつたんやなあ」

ふと、まつをはつぶやくように言つた。

学生は徴兵延期ができたが、良治と同年の一般の若ものたちは、今年の秋には徴兵検査をうけ、来年の正月には入営することになっていた。

男も、徴兵検査をすませれば、もう一人前の男子として認められていた。まつをには、一人息子の良治がそんな年に成長していたことが、なんとなく夢のように思えた。

いや。夢ではなかった。現に「お母さんは真ごころから、死んだおやじを愛したことがあつたのか」などと、面とむかって母親の自分に言ったのである。もうそんな

大人びた口をきくようになつていてるのである。

まつをは言下に息子の口を封じようとした。だが、い

まになつてみると、不思議に胸にしみてくる言葉だった

良治たち若ものがよく語りあつてゐる「愛」とは、いつたい、なんだろうか。良治が聞いただけでもう

自分はほんとうに夫を愛してたのだろうか、と、まつをは遠い目で、夫との結婚生活を振りかえつてた。

彼女は、飽きもせずに自分の肩をもんでいるおたかにちょっとと思いついたようにたずねてみた。

「なあ、おたかはん。あんた、亡うなつた旦那はんとはお見合いやつたんか」

「そうでんなん。まあ、見合い言うたら、見合いみたいなもんですね。わたいの父とう親が厄介になつてた網元の旦那はんがお世話してくれてやつたんですね」

「そうか。いまの若いもんは、恋愛、恋愛言うて、猫も杓子も恋愛結婚したがるようになつたなあ。むかしとはえらいちがいや」

「そうでんがな。わたいらの若いころは、そんな、親にかくれて、好きな人でもけたら、それこそ、えらいこつちや。好い同志がいっしょになるなんて、駆けおちでもせんとあきまへなんだがな」

だが、まつをは、自分たち夫婦が見合いでいっしょになつた仲ではなかつたことを、あらためて思いだしていただ。

ふたりは、世話してくれる人があつたわけではない。とすれば、いまどきの若いものたちの言う「恋愛結婚」だつたというのだろうか。

まつをは、鐘紡のおなじ職場で、はじめて知りあつたこの夫の面影を思い浮べていた。利市は色白ですらりとした優型だったが、おとなしく、真面目一本の男だった。そんな利市にひかれて、さいしょは、まつをのほうから積極的に近づいていき、おとなしい利市がざるざるとひきずられたようななかたちで、ふたりはいっしょになつた。

だが、あれが恋愛結婚だったというのだろうか。さいしょ利市にひかれたあの気持ちを、恋というのだろうかまつをは、いま思ひだしても、面映い気持ちになつてくれる。

恋愛とか恋愛結婚など、あのころの無学で貧乏だった自分たちは、とうてい手のとどかない高嶺の花だったようと思えてならぬのである。

良治から、父を愛していたのかと言われても、まつをは、いまでも「愛」していたなどと、自信を持って言ひきることはできそうにもなかつた。

「やっぱり、あたしらはもう古い人間なんやなあ」

まつをは、めずらしく弱気な口調でつぶやいていた。
だが、いつまでも愛だの恋だのにかかずらっている余裕は、まつをにはなかつた。

大陸での戦争は、もう本格的な支那事変にまで拡大され、ヨーロッパでは、新しい大戦が勃発していた。ドイツ機械化部隊の電撃作戦が、たちまち全ヨーロッパを席巻し、難攻不落を誇っていたフランスのマジノラインも、ドイツ軍戦車のまえにはひとたまりもなかつた。

日独伊の三国軍事同盟が締結され、アメリカは日本に日米通商条約の廃棄を通告してきた。日英会談は決裂した。世界の動きが、すべて一つの狂暴な目標にむかつてなだれをうつてゐるようであった。

地元でも、明石や川西に巨大な航空機工場が増設され航空機のビスやナットの部品を作っている神港精密は、いっそう多忙になつた。会社はさらに増資し、工場を拡張し、工員を増募し、昼夜兼行の実質作業を強行しても生産は需要に追いつかなかつた。軍需工場の花形株になつていた。

陸海軍工場管理規則というものが公布され、神港精密は陸軍の管理工場に指定され、監督官が将校旗をなびかせた軍用自動車で会社に乗りこんでくるようになった。国内の生活も、準戦時体制下にはいっていた。食料も衣料もすべての物資は統制された。街には、スマ入りの



国民服やもんべ姿が目だつてふえてきた。防空演習が活潑になり、街の酒場は、お上の命令で、五時にならねば店を開けなくなつた。しかも、呑ます酒もおそろしく水っぽくなつた。客たちはこれを「庭さめ」だと皮肉つた。酒場の土間で呑むはしからさめてしまうといったとえだつた。

だが、陸軍の管理工場である神港精密は、一種の治外法権下にあつた。まつをは、物資調達の仕事をひきつけ専門の社員を勤員して、食料や酒などを御崎の本宅に運ばせた。本宅の奥座敷は、いつのまにか常設の宴席になつていつた。ほとんど毎晩のように、日本刀をぶらさげた陸軍の監督官や会社の幹部連中が集つてきては、派手な酒宴をくりひろげていた。あいかわらず、まつをは、十六貫にちかい身体を、どっかりと坐わり椅子のうえにすえていた。

國民徵用令が公布され、神港精密にも女子徵用工が配属されてきたが、その何人かは、本宅の宴会の下働きにまわされていた。だが、旋盤をいじるはずの手に雑巾を

持つて働くのも、これもまた「お国」のためだった。「みんな頑張って頑だいよ。あんたたちがいっしょうけんめい働けば、それだけ、会社の生産はあがるし、軍用機が一台でも多くでけるんや」

そう言って、まつをは「女子徵用工」たちをはげましたが、むろん、自分でも本心からそのように信じこんでいた。

良治は、もうまったく御崎の本宅にはちかよらなくなつっていたが、この年の春、大阪の高等学校を卒業すると京都の大学の文科にすんでいた。

さいしょ彼は東京の大学にはいりたい意向を、母親にももらしていたのだが、なぜか東京行きを断念して、京都の大学をえらんだ。

「良治。あんた、身体の不自由なお母さんの身を案じてくれたんとちがうのか。もしもそなうなら、そんな心配はいらん。あんたの好きな大学へはいったらええんやで」いつか、まつをは良治の胸中をただしたことがあつたが、「いいや。京都の大学に好きな教授がいるからや」と、良治は、色白な面にかすかな笑みを浮べながら、言葉少なに答えるだけだった。
(つづく)

★神戸の催物ごあんない★

<音楽>

►ショパンの夕(フー・ツオン・ピアノリサイタル)
1月14日(火) PM 6:30 ピアノ独奏／フー・ツォン
曲目／『幻想ポロネーズ』『三つのマズルカ』『三つの夜想曲』ほか 労音 1月例会 会費 ¥750 於神戸国際会館

►関西学院大学グリークラブ演奏会

1月18日(土) PM 6:30 入場料 指定券 ¥400 一般席 ¥300 於神戸国際会館

►アイ・ジョージ・リサイタル

1月20日(月) PM 6:30 第一部／『ロシア・ソヴィエト歌曲集』『ラテン名曲集』 第二部／創作組曲「くろよんダム」 合唱／東京混成合唱団 演奏／永尾公弘とノーカウンツオーケストラ 労音 1月例会 会費 ¥700 於神戸国際会館

►島倉千代子リサイタル

1月22日(水) PM 7:00 24日(金) PM 2:00 PM 7:00
賛助出演／島倉義孝 演奏／鈴木操とジャズオーケストラ 民音 1月例会 会費 ¥400 於神戸国際会館

►新春コンサート

琴とオーケストラによる「春の海」
1月27日(日) PM 7:00 演奏／桐絃社中 大阪フィルハーモニー管弦楽団 指揮／松尾昌美 民音 1月例会 会費 ¥500 於神戸国際会館



(写真 民芸公演 イルクーツク物語より 奈良岡朋子と山内明)

<演劇>

►イルクーツク物語(民芸公演)

1月15日(水) PM 1:30 16日(木) 17日(金) PM 6:15
作／アルブーツフ 訳／泉三太郎 演出／宇野重吉 出演／奈良岡朋子 山内明 下元勉 垂水悟郎 佐々木すみ江 鈴木端穂 松本典子ほか 労演 1月例会 会費 ¥550 於神戸国際会館

<演芸>

►初笑い寄席名人会

1月1日～9日 AM12:00 PM4:30 出演 若井はんじ・けんじ ナンセンス・トリオ トリオ・スカイライジング ピチック・パチックほか 入場料指定席 ¥500 一般席 ¥350 於神戸国際会館

だからよけい
私は小さな神戸が好きだ



六
二

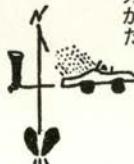
大きな神戸がうらうらして私が小さく見える
小さな神戸には
ダルマ船がかたを寄せ合い私が大きくなる
大きな神戸には
工場の煙突が天にそびえ私が小さく見える
小さな神戸には
中国人街の雑踏が楽しく私が大きくなる
私は小さな神戸が好きだ
私が大きくしてくれる小さな神戸が好きだ
でも小さな神戸は大きな神戸に負けそうだ
小さな神戸がかわいそう

木柏嘉嘉金大小小岡岡岡牛上榎石井石乾砂青荒有浅朝安
曾比下井納納井淵野根崎部崎尾田並野上野 野木木岡田奈部文
健毅正元ツ一真 伊真吉将成左信豊 重信長 正ト都衛
繁一六治彦夫造忠子一郎雄一門院一彦仁雄景道平隆夫

竹津玉田田田田滝滝竹角砂塩新白雀坂阪古後上小小小小
馬高井中中村宮川川中南田路谷川部口本林藤林林泉林磯

準和 健寛虎勝清 猛重義秀 昌干 喜末英秀徳芳良
之 一之 之 助一操郎次介彦二一郁夫民孝雄渥介雄勝染二一雄一夫平

神行山若百村宮宮松福深原畠原野南中直外
戸
青吉口杉崎上地崎井富水 口沢部西木島
年
会哉泰 辰正裏辰高芳惣泰專忠幸圭 太健
議 一次二
所女弘慧雄郎二雄男吉良郎郎三勝郎吉



発行にいろいろとお世話いただいた方がた

私の友人で、大阪経済大学の村上先生の御招待で、神戸に来られたのですが、なにせ日本の短かいこのごろで、今までのかけ合いで、神戸市中を見てのまことに、下はボートタワーのびわ湖、上の神戸港からは六甲をあおぐほど再度山中まで、とにかく神戸のすばらしさを再認識させられました。しかしながら、それにもまして感心させられたのは、神戸の人の大変なる郷土への愛着心であります。これがマスク文化された中に住む我々大阪人は、やはり大変めずらしいことであり、又それが大変めずらしいことである。しかし、その郷土のない方が思惟強くなるのです。じられるのは、この「神戸」子々であります。それが、私が村上宅を去るとき、「よくよりも、もとより」と手渡して貰ったものです。がんばってこれをいたいとき、その友人の深い心づかみに頭が下がりました。また神戸を訪れる日を楽しみに、戸の発展と、神戸「子々」の成長をお祈りします。(大阪市 米田惠一)

★一九六九年。戸は、どう裏聞ます。(神戸っ子)は皆さまの限りひ心から感謝して日本との連絡を強調する。★編集室の窓からが日毎に高くなっているのでつべんに新しいだらうナナベ。ジイと思ひます。

★今月から「神戸経時報」が連載が始ままり戸らしいベージ

★新年あけまして
おめでとうございります
本年も何卒よろしくお
いたします。

編集部一同

編集後記

★トランプ・グローバルのモデルの吉岡アリス娘、目下人気上昇中！編集室に間違った合せがあつたり、トランプ・グローバルへ直接かけ合いに行つたり。なにせ美人ぞろいのモデル娘、吉田アリス子モデル娘を守る会結成を考慮中！！求会員。

★ふりかえりさまで一葉を手にして、
ほら、これが柿の葉よ。はぜの紅葉だ
ねえ。思ってるやつは誰だつて、
一度は燃えるのね。唇に葉をあてたて
中で埋没しているのが現代家庭
かも知れない。倒壊な空の攻勢だ
と、人間は群衆のこともなく孤独
の歩みを続けてる。認識もせ
せた所に存在がある。△岡本邦彦△
★昨年十一月に、久松静児監督作品
『日記』がテレビで放映された。
映画であつた。それにしても、理
屈をひきだらうつづけを街へ、邪
魔をひきすぐるやうに、話題監督へ
吐が出来た。△高田嘉彦△
★「過去だけが唯一に信じられるもの
のつとつかない歩行が始まった。
おぼつかない歩行が始まつた。

神戸「子こあんない

神戸つ子こあんない

6ヶ月分

★月刊神戸。つ子を毎月お読みになりたい方は、またの香りをおとどけになりたい方は、編集室あてにお申込み下さい。さっそくお送りいたします。

◎月刊神戸っ子をお買求めの時には
左の本屋さんどうぞ。
コーベックス さんちかタウン
漢口堂三宮店 京町筋

* 発行／昭和44年1月1日
* 編集・発行／小泉康夫
* 発行所・神戸つ子編集室
神戸市垂合区八幡通5ノ96
K・Eビル4階
⑧⑨7037⑩8072
頒価／100円

鍋物つて親しみが
増すみたい!!

悟味酉ちやんこ場

さんちかタウン <39> 5319
味のれん街

お茶漬・おむすび・鍋もの

悟 味 酉

阪急西口 <33> 3848

鍋もの
炉ばた

悟 味 酉

阪急西口 2階 <33> 3848

お茶漬・おむすび・鍋もの

ふ る 里

生田筋 <33> 5535



森本「私、シャガールが好きよ」
北田「私はルノアールが好き!!」
デザイナーのお2人は美術を語り合いながらも
“うどんすき”への手は休むいとまがない。

右 森本寿鶴子 左 北田百合子
<ゴンチャロフ製菓企画部勤務>

海 船 港

SEA · SHIP · PORT

—— No. 1



8 実に锚をあけた处女航海のベンクルーカン号

スコッチと船長

●貨物船 ベンクルーカン号<英>
キャプテン・ケネス・H・ハーディを訪ねて

グレーとエンヂの船体に、黄色い2本の煙突。貨客船には珍らしいデザイン。空にはえてスマートだ。花の4月にグラスゴーで、シャンパンならぬスコッチの洗礼をうけて進水したベンラインの「ベンクルーカン号」は12,097トン。

ロンドン→ケープタウン→シンガポール→香港。神戸港第八突堤に処女航海の恥らいをみせて静かに錨を降している。

「キャプテン サー！」

ノックをする。と、銀髪にパイプをくわえたハーディ船長のにこやかな顔。さだされた大きな手に慌てて握手。暖かい。

——1931年。15才に成長した少年ハーディは、憧れの船乗りになった。初めての船。初めてのニッポン。緑の山と海と自然にめぐまれた島々。あまりにも故郷スコットランドと似ているではないか。東北から北海道。北へゆくほど気候も人情も似ている——。

I like Japan!と目を細める船長の脳裏には、少年の日のニッポンが鮮やかに浮かんだことだろう。

スコッチがだされる。

「スコットランドの正月は、小さなプレゼントとスコッチを持って、親戚やお友達の家を廻るんですよ。」

「じゃあ、グッド・ヘルス！」

と、乾杯する。今度は葉巻をくゆらせる船長。チャーチルを想い出した。

ハーディ船長

英國船の赤道祭は?

「新しいクルーが、初めて赤道を越えるとき、ネブチューン(海の女神)の衣裳を着て、海の男に適しているかどうか神にたずねるんですよ。OKがでたらスイミングプールに放りこむんだ」と笑う。

—新造船の乗りごこちは?

「自動化で仕事がスムーズになつたからクルーは58人の少人数。推進減速装置がついていて、船腹から荷物の陸上げが直接できるようになつている。

昔の船にくらべると働きやすいですよ

この写真を見て下さい。ケーブタウンの沖で、21.5ノットの最高スピードで走つて、大変海が荒れていたときで、船首に波のまれ目に白いものが見える。おかしいとそばへ寄つてよく見ると鯨と衝突してゐる! (笑)そこをハチリ

—南大西洋鯨のひるね旅やね。

「船をバックさせて鯨をはずしたけれど、鯨油でベンキがはげちやつて……。苦労しましたよ」

—捕鯨船なら儲かつてんのに。
船長のご趣味は?

「読書と射撃と日曜大工。動物記や旅行記を読む。射撃はスコットランドでは狩に行けるけれど、船じや獲物がないので、お皿を放つてはハーベンノとやる(笑) 大工は家のために船を降りてからね」

最後におのろけがでた。船内は新しいので気持ちいい。船長の案内でラウンジ、BAR。シングルツイーンの船室と案内してもらう。香港までは約5万円、ロンドンまでは27万円。船旅もいいな。

夕闇に浮ぶイエロー・ハンセルに、別れをつげた。

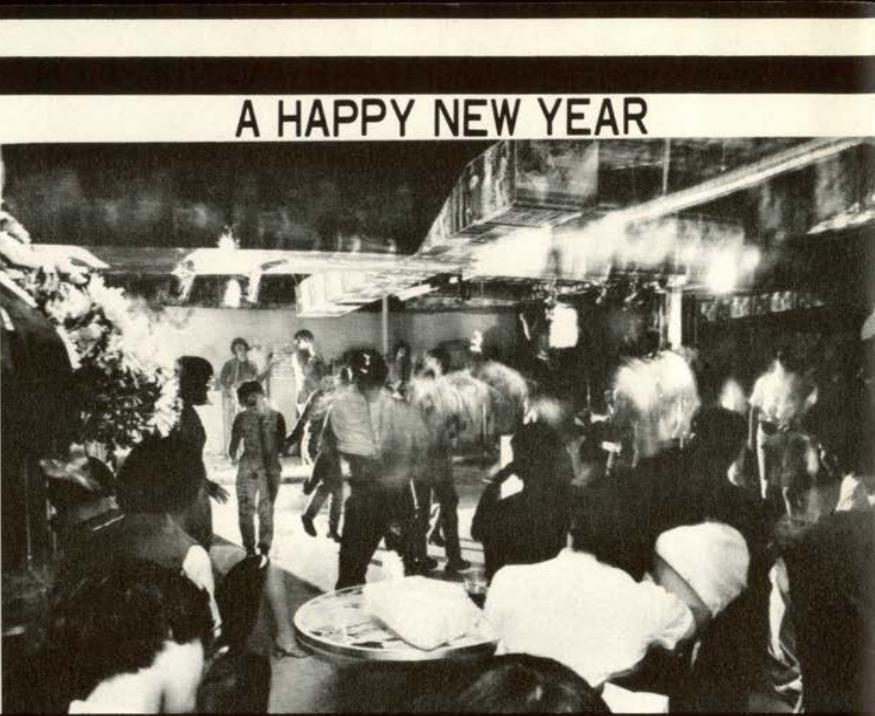
(編集部)

▼ベンクルーカン号にケーブタウン沖で衝突した時



▲ベンクルーカン号の赤と白のBAR ROOMと船長



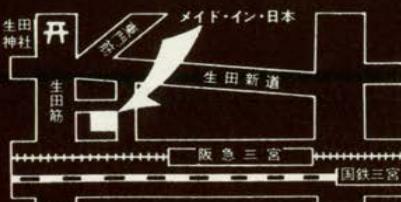


MADE IN
NIPPON

横尾忠則がデザインした
神戸で初の本格的サイケ芸術の店

メイド・イン・日本

神戸生田筋ヒロタ東入る・三宮興業ビル 4F
TEL 33—0353



★連日一流バンド・ゴーゴーガール出演
A コース 330円—コーラ・ジュース付
B コース 550円—ビール(小)付き出し付

営業時間 平日 P.M. 3.00~12.00
日・土曜・祝日 P.M. 2.00~12.00

会下山の朝

古久原時言

二月 摄影／緒方しげを





No.11

●サンサカエ・ゴルフコーナー

賑やかにゴルフをする

元町ゴルフショッピングコンペ

大神戸カントリークラブ



写真左・和久照代

写真右・左から 菊田伊世夫、田村正、安本好孝、後藤弘



前列左から・有久清安、長尾照男、長崎義勝(元町ゴルフショッピングコンペ
店主) 安富永次、戸田孝
後列左から・松尾信三、宮谷義丸、名村英夫

謹賀新年

サンサカエの今年のゴルフウェア
★サンサカエでは、今年は、アメリカン調のラフな感じの中に、英國の気品あるムード、これが基調です。黒と白をベースにカラフルなシャツを着こなすゴルファーが、グリーンで魅力を發揮することでしょう。

★スリッポンの代表であるヒフス・アベニュウ(USA)が入荷しました。色は茶と黒、サイズは各種揃えています。 ¥5,800.

マックグレガー



マンシング
ウェアー



men's apparel

サン・サカエ

ラコステ

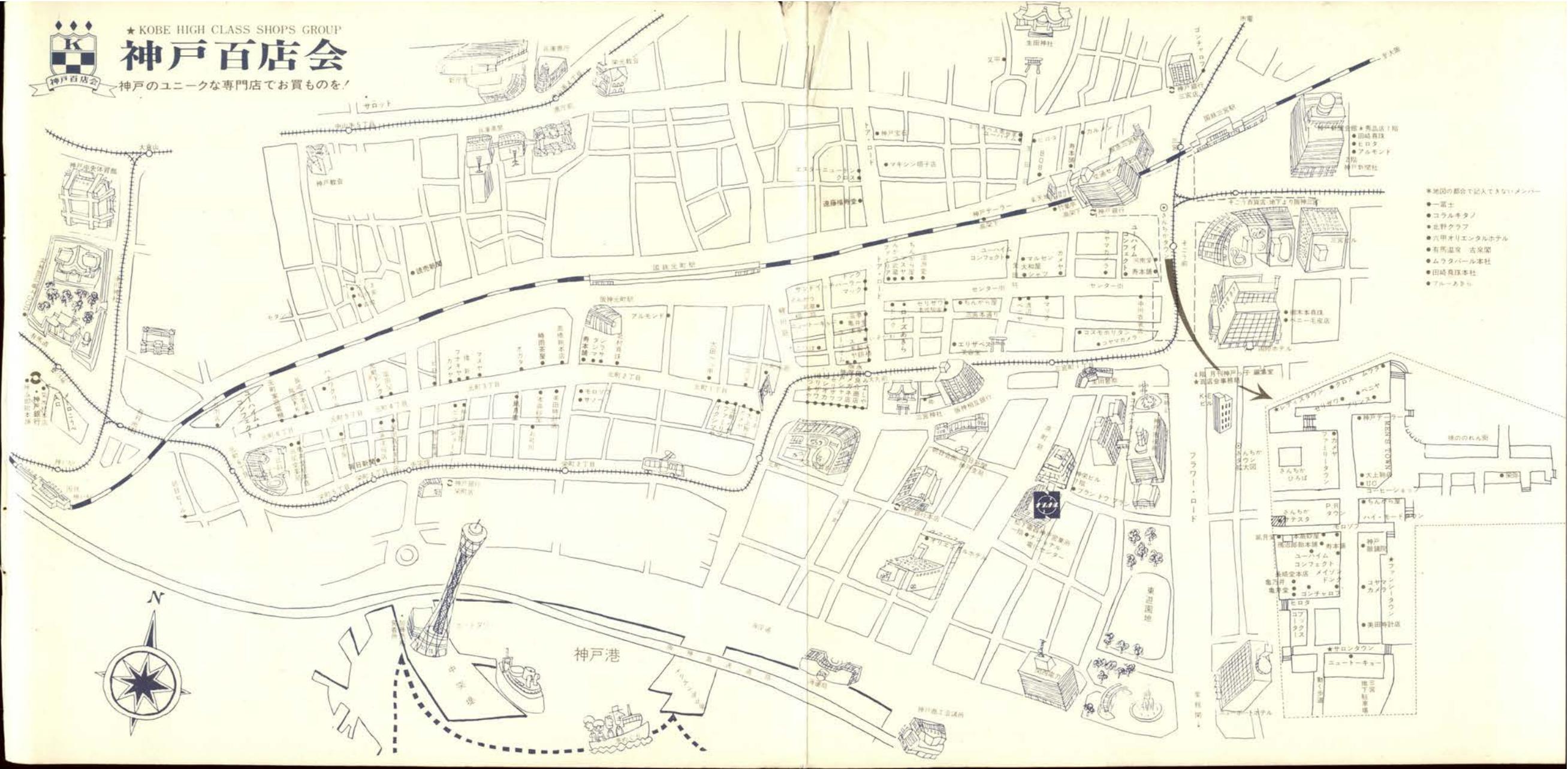


神戸元町2
TEL<33>-7885



★ KOBE HIGH CLASS SHOPS GROUP 神戸百店会

神戸のユニークな専門店でお買ものを!



今年もハイセンスな皆さまの銀行として明かるく
豊かな生活設計のお役に立ってまいります――

謹んで新春の
お慶びを
申しあげます

新春'69年の生活プランは《こうべ》の
窓口へいつでもご相談くださいませ

神戸銀行

東宝／内藤洋子

★百店会でのお買物は神戸銀行ホームチェックをご利用下さい



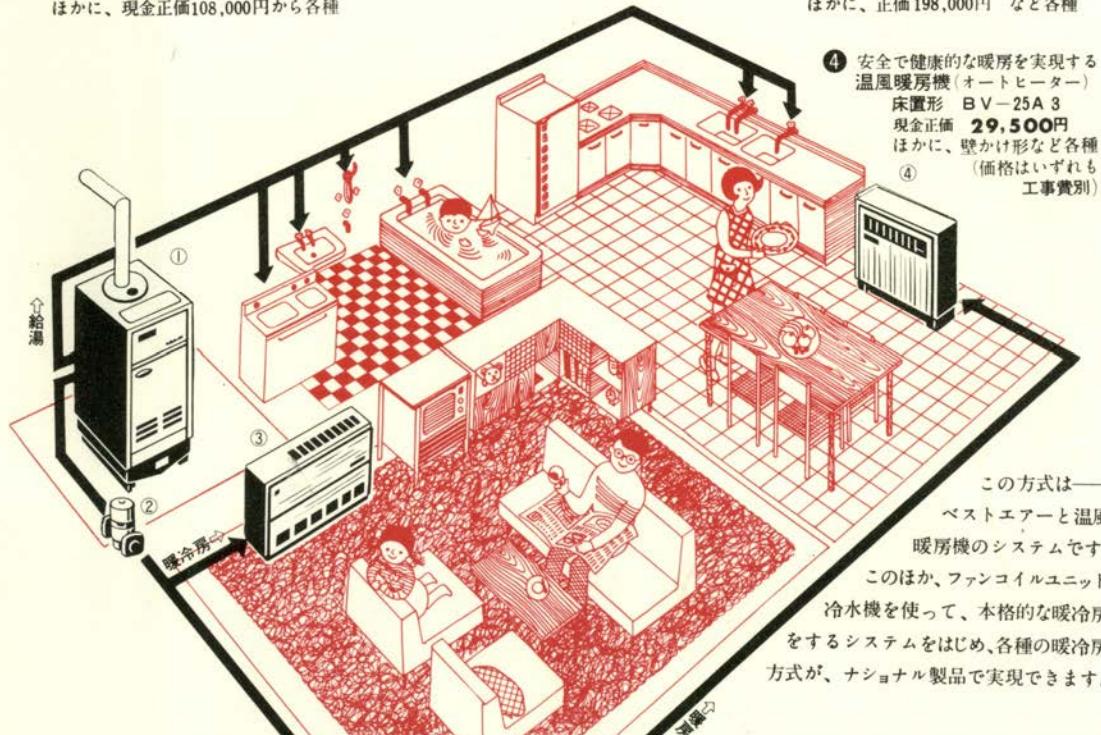
家じゅう暖冷房! どこでもお湯がタッパリ使える…

こんな快適な暮らしを実現するのがナショナル〈セントラルシステム〉です

- ① 給湯と温水暖房の熱源
自動給湯機(オートホット)OW-251A
現金正価 **225,000円**
ほかに、現金正価108,000円から各種

- ② 循環ポンプ PY-201C
現金正価 **29,300円**
ほかに、現金正価18,000円から各種

- ③ 冷房もできる機能を内蔵した高級形
ベストエアー BV-2100K
現金正価 **236,000円**
ほかに、正価198,000円など各種



この方式は——

ベストエアーと温風
暖房機のシステムです。
このほか、ファンコイルユニット・
冷水機を使って、本格的な暖冷房
をするシステムをはじめ、各種の暖冷房
方式が、ナショナル製品で実現できます。

これからのおまいづくりに……

ナショナルセントラル暖房冷房給湯システム

●カタログのお求めとお問合せは……

松下電器・神戸住宅設備機器営業所 神戸市生田区京町78 ☎ 650 TEL (39) 8011